

新庁舎整備の基本構想を策定しました

現在の役場本庁舎は、昭和46年の竣工以来、50年以上にわたる町民生活における中心的な役割を果たしてきました。

しかし、十分な耐震性が確保されていないという課題があり、防災拠点としての安全性の強化に向けた早急な対策が必要と判断し、平成30年度から新庁舎の整備に向けた検討を進めてまいりました。このほど、アンケート調査による町民の皆さんや町議会からのご意見を取り入れ、新庁舎として目指すべき方向性を整理した「大磯町新庁舎整備基本構想」を約1年かけて策定しました。

新庁舎の建設地について

新庁舎整備にあたり、新たに建設地を求めることは、用地交渉の時間や用地取得に係る事業費を膨らませることになります。現庁舎の抱える多くの課題を解消するため、早急な建て替えを行う必要があることから、総合的に評価した結果、現庁舎と同一の敷地内で整備することになりました。

津波の影響について

現敷地における津波の影響について詳細な津波シミュレーションを行いました。

新庁舎の基本理念と基本方針

基本理念

「人と地域、歴史と未来をつなぐ まちの拠点」

基本方針

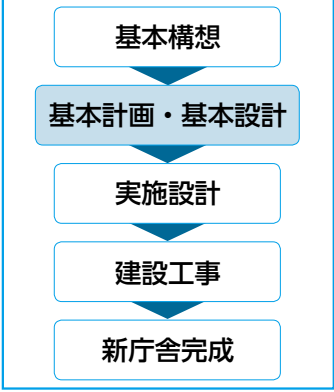
基本方針で示した6つの項目については、町民アンケートなどでいただいた意見を反映しています。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 防災の拠点となる安全安心の庁舎 | (4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎 |
| (2) 町民サービスの向上につながる庁舎 | (5) 経済的で合理的な永く使える庁舎 |
| (3) 誰もが快適で使いやすい庁舎 | (6) まちづくりの拠点となる庁舎 |

その結果、海側に必要な対策を講じること、被害を防ぐことができるかと確認できました。

今年度は

新庁舎整備の次のステップとして、設計の基礎となる新庁舎の規模や配置等の具体的な事項を整理する「基本計画」と「基本設計」に取り組みます。今後、町民の皆さんのご意見をお伺いしながら、令和7年度の利用開始を目標として進めてまいります。



◆基本構想の詳細は◆
町のホームページからご覧いただけます。また、町民情報コーナー（役場本庁舎・国府支所）でもご覧いただけます。

問 総務課 ☎内線209

明治記念大磯邸園の旧大隈重信別邸・旧古河別邸の建物改修工事が始まります

明治記念大磯邸園は、令和2年11月以降、庭園の一部区域を開園し、これまで3万人以上の方に来場いただいています。

令和7年度の全面開園に向け、現在も国や県とともに、整備事業を進めており、この度、開園区域内の旧大隈重信別邸・旧古河別邸の建物改修工事が始まります。

工事中は、邸宅の周りに仮囲いが設置され、建物外観の全体を見ることができません。

なお、仮囲いの一部は、透明な素材を使用していますので、

部分的に工事中の邸宅を見ることができません。

また、案内棟及び蔵の改修工事等も実施し、工事完成は、令和5年3月を予定していますので、その間は、園内の案内板にお願いいたします。

今後、陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸の改修工事も順次行う予定で工事期間など分かり次第、お知らせします。

問 都市計画課 ☎内線238

